

BB4 (状態数が4の Busy Beaver. Busy Beaver というのは空白のテープに同じ文字を有限個書くプログラム)

- これは ネット上の Turing machine simulator からお借りしました.
- Busy beaver(以下BB) については Cat on Mat がより詳しいです.
BB3 は3状態で6文字だが、このBB4は13文字が書ける。これが各々状態数が3と4のBBが描ける最大数らしい。
- 状態数がnで1文字のBBの書ける最大の文字数をB[n]とする。Cat on Mat によると
 $B[3]=6, B[4]=13, B[5]=4098, B[6]=46 \times 10^{1439}$ だそう。但しB[5], B[6]については正確な数字はまだ分かっていない。B[6]については決して分かることはないだろう。と言っています。
確かにB[x]は計算不可能なことが証明されていますが、虱潰しで求められる日が来れば面白いと思います。
- 2つのサイトのリンクを張っておきます。下の薄青色の文字をクリックしてください。

turing machine simulator

cat on mat (busy beaver)

- TuringMachineの仕様は TuringMachine[rules, 初期状態, step数] となります。
ruleは $\{q,s\} \rightarrow \{q',s',dir\}$ (q :現在の状態, s :ヘッドの下の文字, q' :次の状態, s' :ヘッドが書き込む文字, dir :ヘッドの進む方向.右, 左, 留の3通りで, +1, -1, 0で指定)
初期状態は $\{(q_0, pos), tape\}$ (q_0 :最初の状態, pos :最初のヘッドの位置, $tape$:最初のテープの状態) となります。
- 例えば $\{1,a\} \rightarrow \{2,b,+1\}$ は「状態1でheadの文字がa」なら「ヘッドの下に文字bを書いて、ヘッドは右に1つ進み、内部状態は状態2へ移る」という事です。
- 同じ例は遷移図の方では「(1の書いてある丸) \rightarrow (ab右) \rightarrow (2の書いてある丸)」と表されます。
- tapeの初期状態は変数[tape]に入っています。初期状態は変えることができますが、両端に空白がそれぞれ2個以上「最後まで残る」様にして下さい。
- 最後のManipulateではテープをクリックしてdragすると、画面の大きさが変わります。

■ 補助program

```
ClearAll["Global`*"]

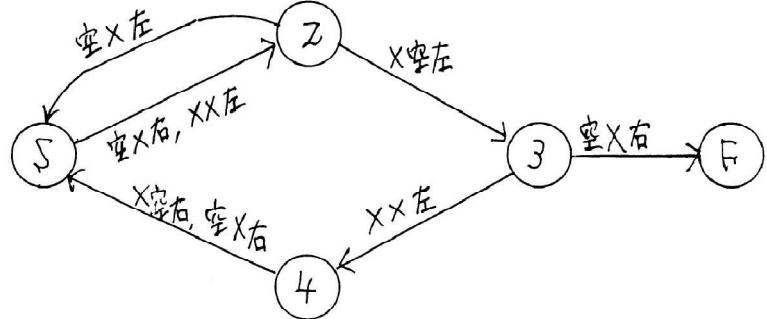
(*ヘッドの位置を[]で、状態は添字で表示する*)
qbracket[x_List] := (*状態+ヘッドの位置。プログラムの検証にGood*)
  ReplacePart[x[[2]], x[[1]][[2]] \[Rule] Subscript["[" <> ToString[x[[2]][[x[[1]][[2]]]]] <> "]", x[[1, 1]]]

(*状態FがTuringMachine[]の出力=outに最初に現れる位置。*)
posF[x_] := FirstPosition[x[[All, 1, 1]], F][[1]] - 1

turing[out_] :=
  Manipulate[
    Block[{now, tape, control, pos, state, contents, boxes},
      now = out[[step]];
      tape = now[[2]];
      control = now[[1]];
      pos = control[[2]];
      state = control[[1]];
      boxes = {Line[{{1, 0}, {1, 2}}], Table[Line[{{i, 0}, {i + 1, 0}, {i + 1, 2}, {i, 2}}], {i, 1, Length[tape]}]};
      contents = {Table[Text[Style[tape[[i]], Large], {i + .5, 1}], {i, 1, Length[tape]}],
        Green, Polygon[{{pos, -1}, {pos + 1, -1}, {pos + 1, -.5}, {pos + .5, 0}, {pos, -.5}}],
        Black, Text[Style[state, Medium], {pos + 0.5, -0.7}]};
      Graphics[{boxes, contents}]], {step, 1, Length[out], 1}]
```

■ main program

```
Import["https://mixedmoss.com/mathematica/turing/jpg/BB4.jpg"]
```



```
rule = {{s, " "} -> {2, X, +1}, {s, X} -> {2, X, -1}, {2, X} -> {3, " ", -1}, {2, " "} -> {s, X, -1}, {3, " "} -> {F, X, +1}, {3, X} -> {4, X, -1}, {4, X} -> {s, " ", +1}, {4, " "} -> {4, X, +1}};
```


turing[bb4]